

大飯発電所 「第二大飯幹線1Lキャリアリレー故障」他の
警報発信について

大飯発電所3、4号機は、再起動に向けた2次系クリーンアップ中のところ、平成24年6月23日23時35分に、中央制御室において「第二大飯幹線1Lキャリアリレー故障」「第二大飯幹線2Lキャリアリレー故障」警報が発信し、直ちに復帰した。

警報発信状況を確認したところ、2系統あるキャリアリレー（※）A、B系のうち、B系の故障表示を確認した。同警報は6月24日01時ごろまで、ごく短時間で復帰することを断続的に繰り返していた（B系のみ）が、その後、警報は発信していない。

また、平成24年6月24日08時12分において、「大飯幹線1Lキャリアリレー故障」「大飯幹線2Lキャリアリレー故障」警報が発信し、直ちに復帰した。

※キャリアリレー：送電線において何らかの不具合が発生した場合に、その不具合による送電系統への影響を最小限にとどめる目的で、送電線の健全性（地絡の有無など）を監視するために、送電線両端に設置している。キャリアリレーはお互いが通信回路（マイクロ波無線）にて接続されており、雷などの影響による送電線事故を検知すると、当該送電線を系統から瞬時に、切り離すための信号を発信する。

警報発信後、状況把握を行ったところ、送電線に接続されている特別高圧開閉所の母線電圧は通常値であり、送電線の異常は認められなかった。

また、キャリアリレー設置されている搬送保護継電装置盤を確認したところ、リレー本体には異常は認められなかったが、データを伝送している通信回線（マイクロ波無線）の通信状態の異常を示す警報が発信し、ごく短時間で復帰していたことから、警報が発信した原因は、フェージング（大気の状態により通信回路（マイクロ波無線）が乱れたこと）を検出したものである。

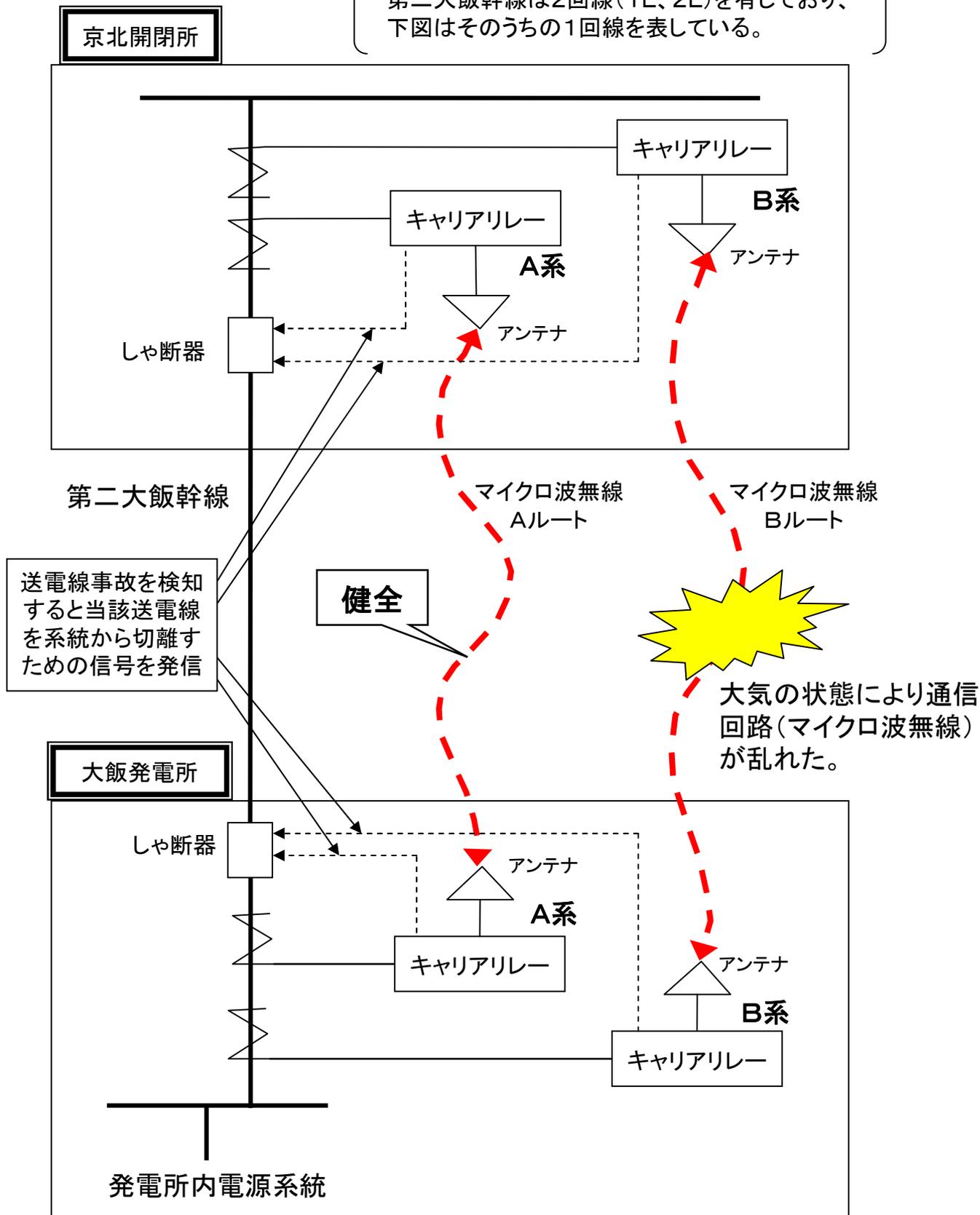
なお、本事象は発電所設備に影響を与えておらず、法令に基づくトラブル、安全協定に基づく異常事象には該当しない。（外部への放射性物質による影響、作業員等の被ばくもない。また、起動プロセスへの影響もなく、計画通り起動作業を進めても安全上の問題はない。）

以上

添付資料：発生状況図

発生状況図(第二大飯幹線)

第二大飯幹線は2回線(1L、2L)を有しており、
下図はそのうちの1回線を表している。



発生状況図(大飯幹線)

大飯幹線は2回線(1L、2L)を有しており、下図はそのうちの1回線を表している。

